

# 北海道の湿原



キリタツプ



釧路



サロベツ



別寒辺牛

# 雪融け時期の湿原



霧多布湿原泥川



別寒辺牛湿原(チライカリベツ)



ヤチ坊主



湿原水の採取

# 十勝の湿原



紀文沼



紀文沼にそそぐ川



湧洞沼



生花苗沼

# 北海道の湿原分布域の変化

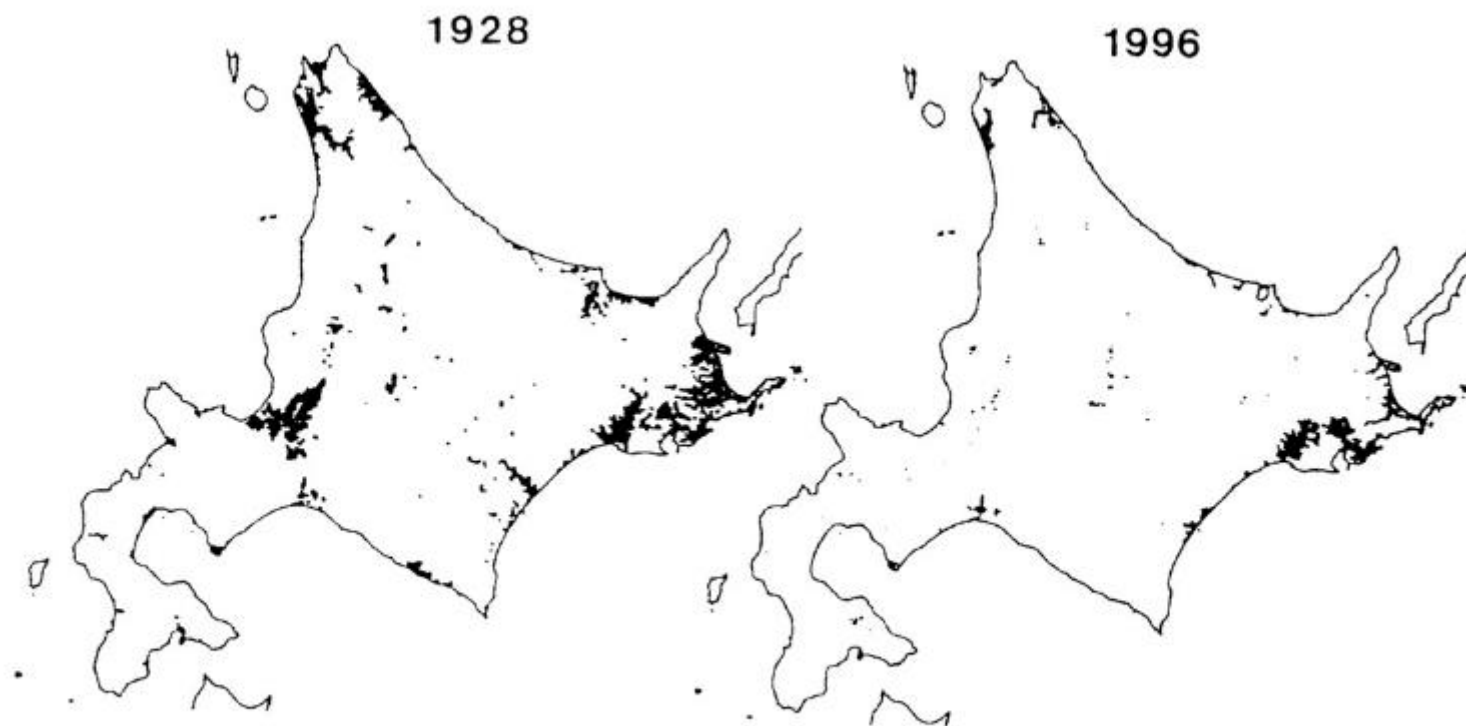


図 V-2-1 北海道の湿原分布の変化 (富士田 1997)

約20万ha



約6万ha (30%)

ISBN4-406-02050-0 C0093 P1600E  
定価1600円(本体1553円・税47円)



石狩川  
上  
本庄陸男

新日本出版社

本庄陸男

石狩川

上

# 本庄陸男 「石狩川」

- 間違いもなくこれが彼らの探し求めたトウベツ川であった。上目づかいに見渡す上流の平原は、ひしめきむらがる樹林つづきの緑の海であった。

## 本庄陸男 「石狩川」

(川の流れが)地の底を割って見せたのである。一尋(ひとひろ)もあるかと思われる黒い壤土の層が、水気を含んだうるみ顔をこちらに向けている。

むっとする土の香りが匂ったようであった。

おおこれがわれらの土。虚脱されたような数秒かが過ぎた。へたへたとくずおれそうになった。

# 本庄陸男 「石狩川」

地下茎のうえに地下茎をのぼし、その上におのれの葉や茎を腐らかし、またその上に根を張り、葉をしげらし、枯れくずれ、――積み上げ積み重ねた数え切れないほどの春夏秋冬が、踏めば沈むような低位泥炭土をつくっていた。



# サロベツ湿原

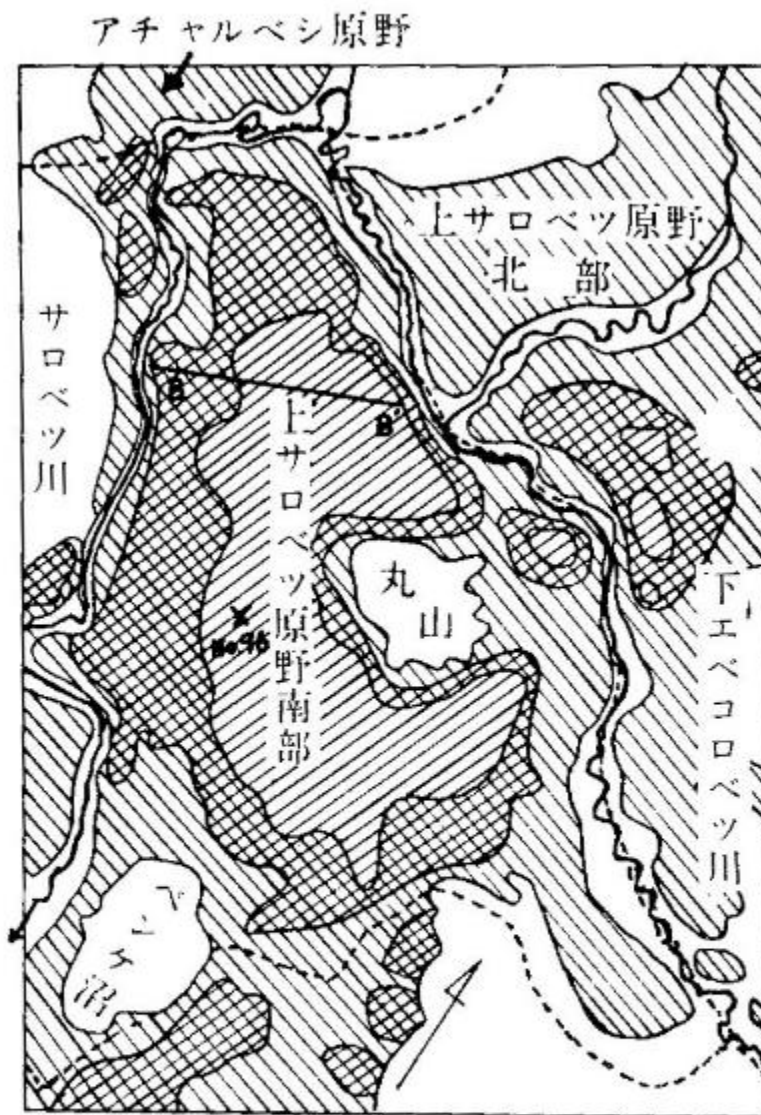




サロベツ湿地と利尻富士

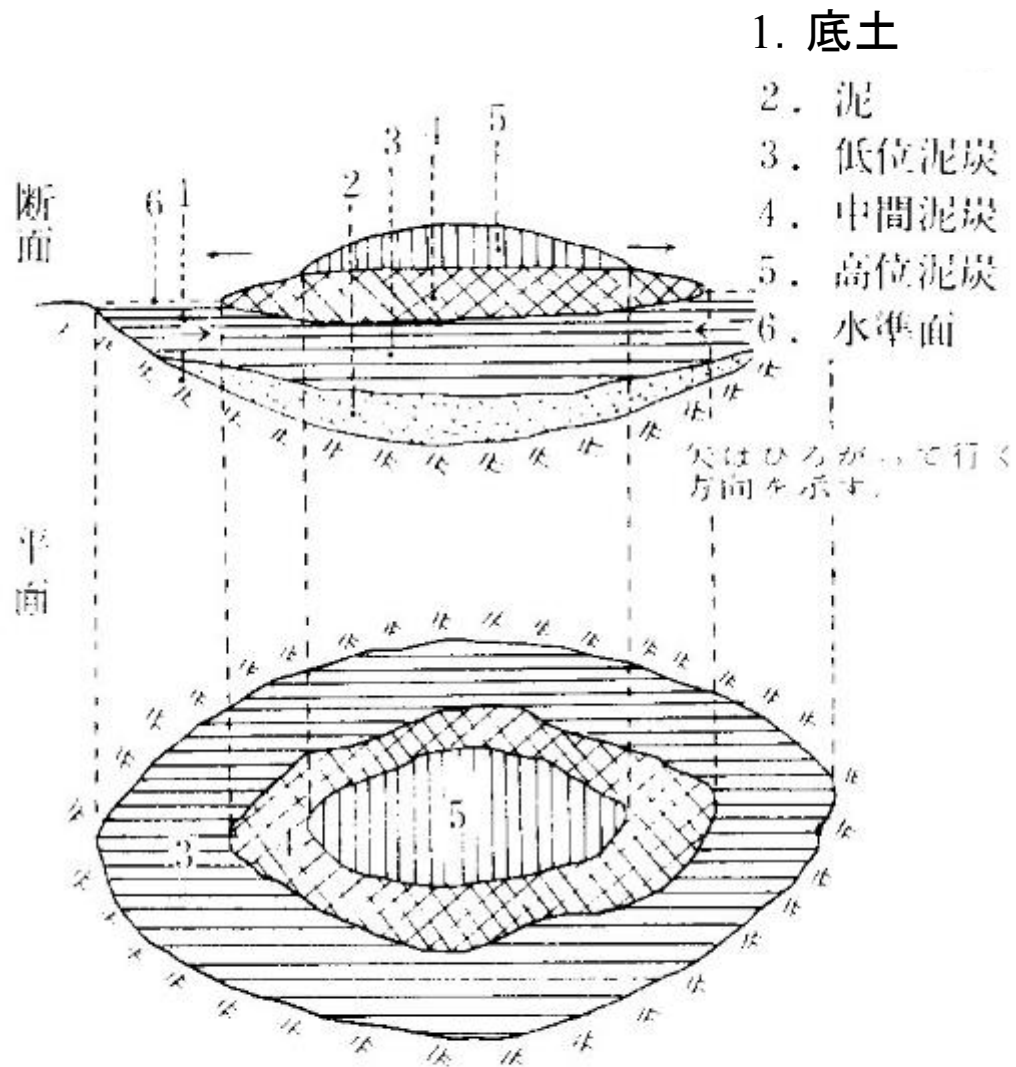


高位泥炭断面と低位泥炭断面  
(いずれも採草地にて)



# 上サロベツ原野 低位・中間・ 高位泥炭の分布

第3図 上サロベツ原野



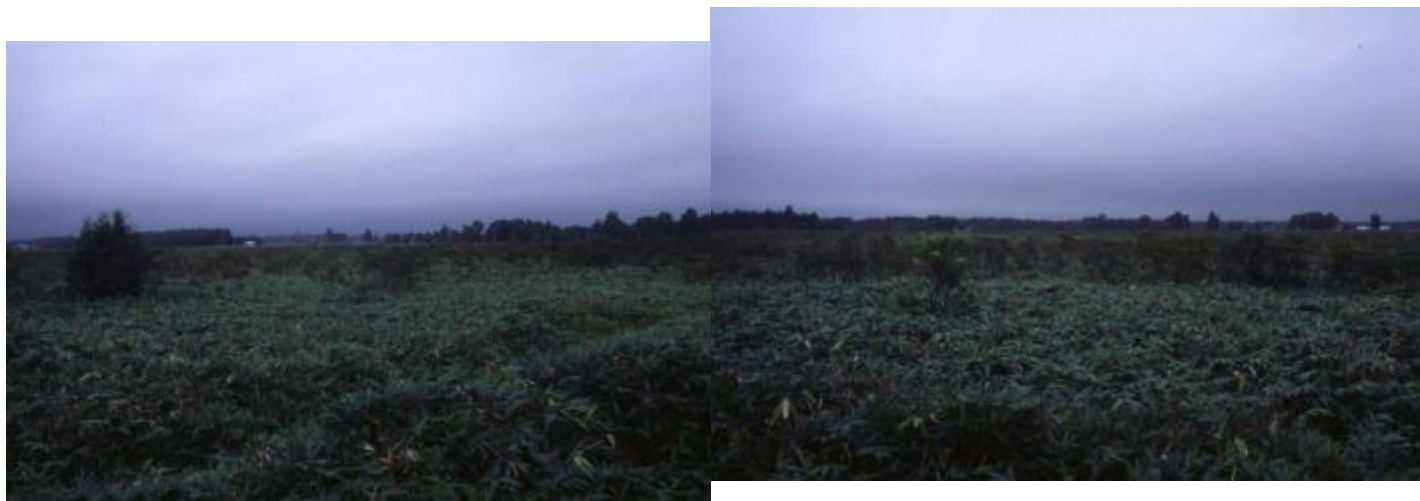
第1図 泥炭地の生成 (浦上)

# 泥炭地の生成



美唄湿原の景観

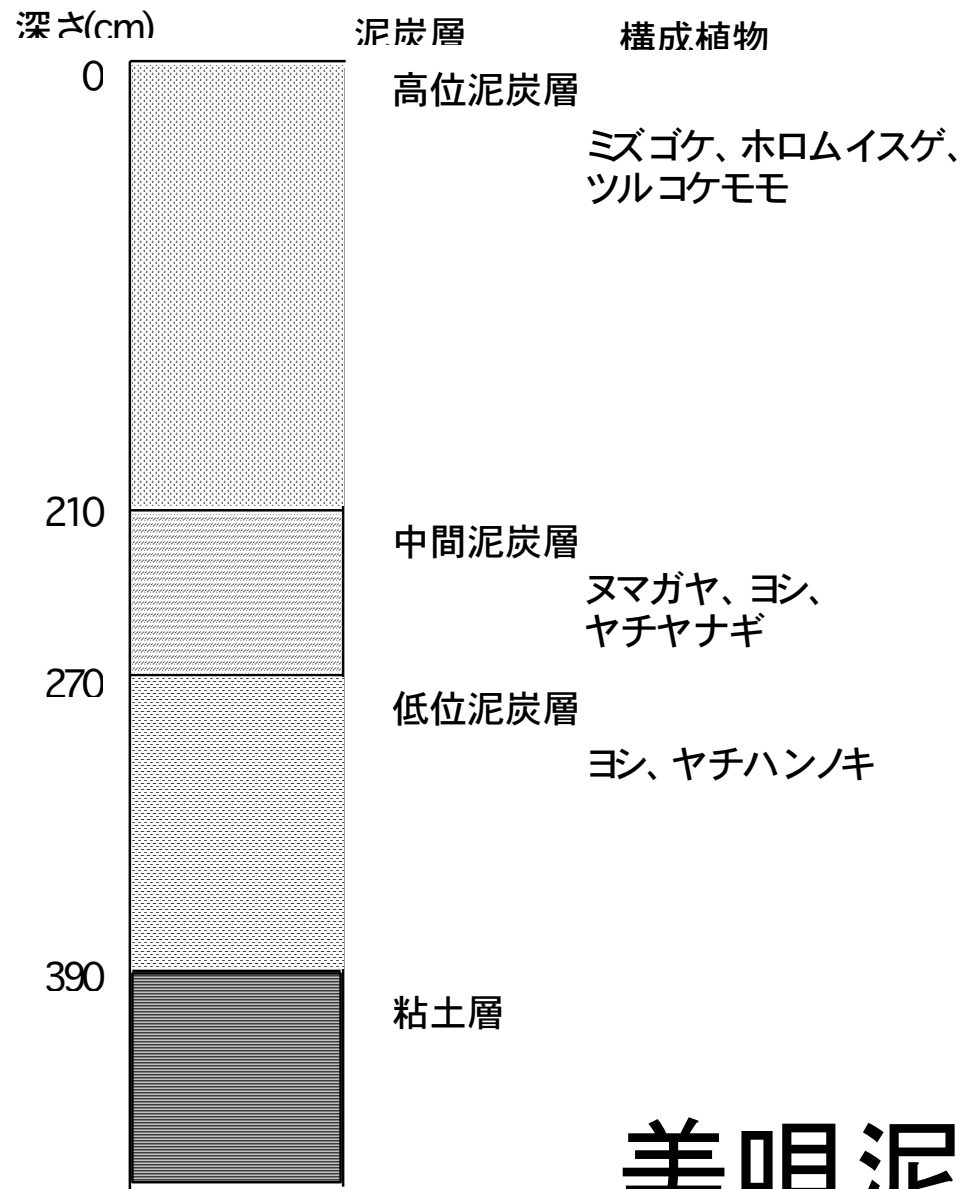
# 美唄泥炭地の風景





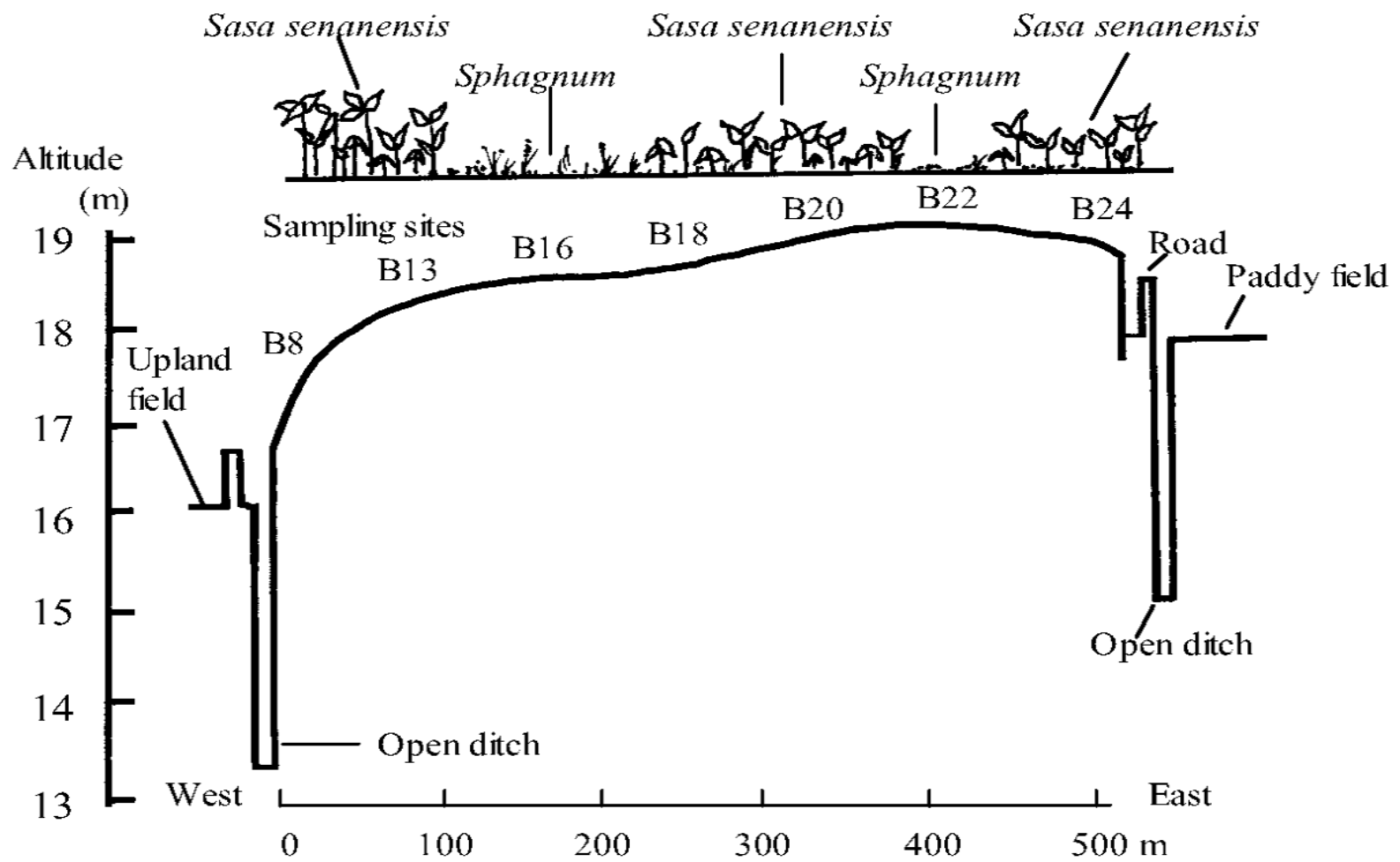
美唄泥炭土壤断面（林地化した地点）





# 美唄泥炭土断面

図 7.1 高位泥炭土断面の例 (北海道美唄泥炭地)



美唄湿原の横断面

# 泥炭地の植物



ヤチヤナギ



ヤマウルシ



チマキザサ



スゲ

# 泥炭地の植物(ミズゴケ)





ショウジョウバカマとワタスゲ



ワタスゲ



ツルコケモモ ガンコウラン



霧多布湿原にて  
エゾキスゲ、エゾゼンテイカ、エゾカンゾウ



# ヤチボウズとチシマフウロ



# 別寒辺牛 チライカリベツ



泥炭地河川水のサンプリング



ヤチヤナギ キスゲ



エゾイソツツジ



ヤチヤナギ ガンコウラン

ヒメシャクナゲ

## サロベツ湿原の植物



鷓川 低位泥炭地断面

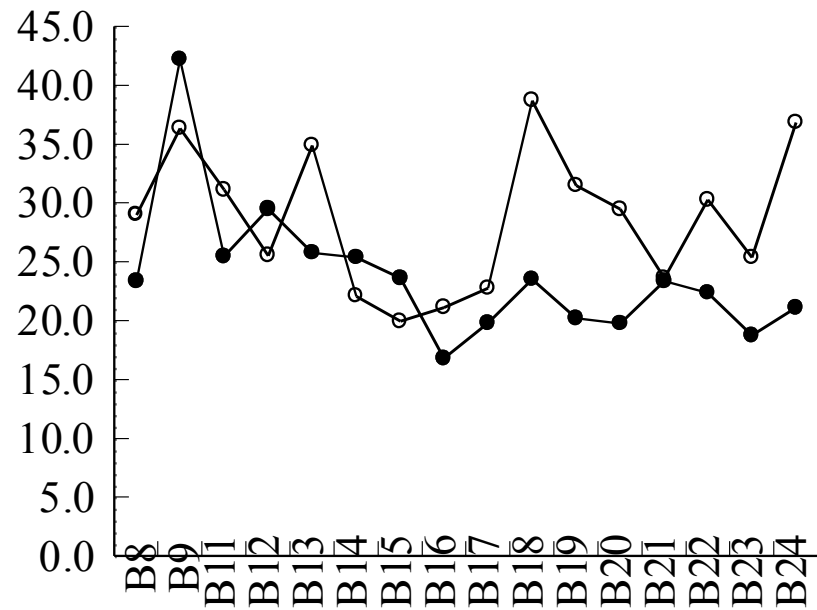


鷓川の泥炭地を覆った樽前火山灰  
(1667年、1739年)

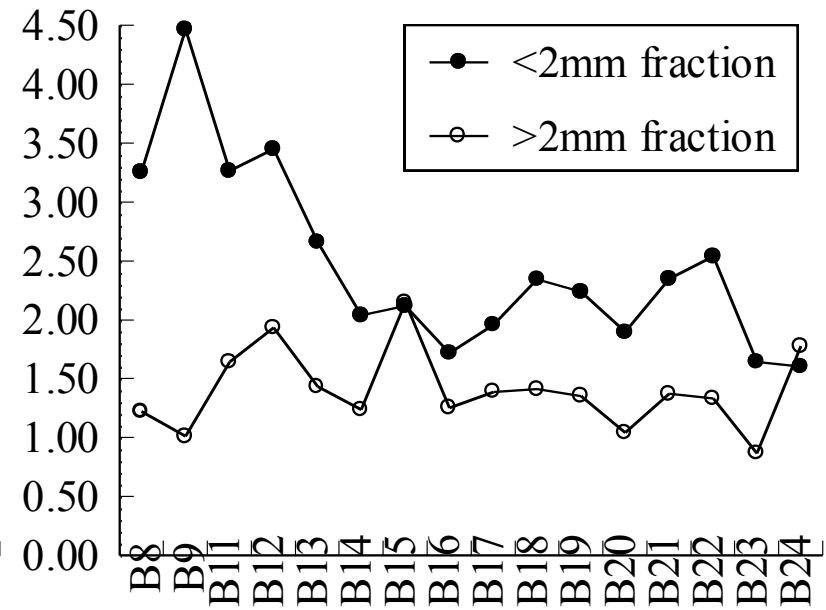


販売用泥炭の乾燥

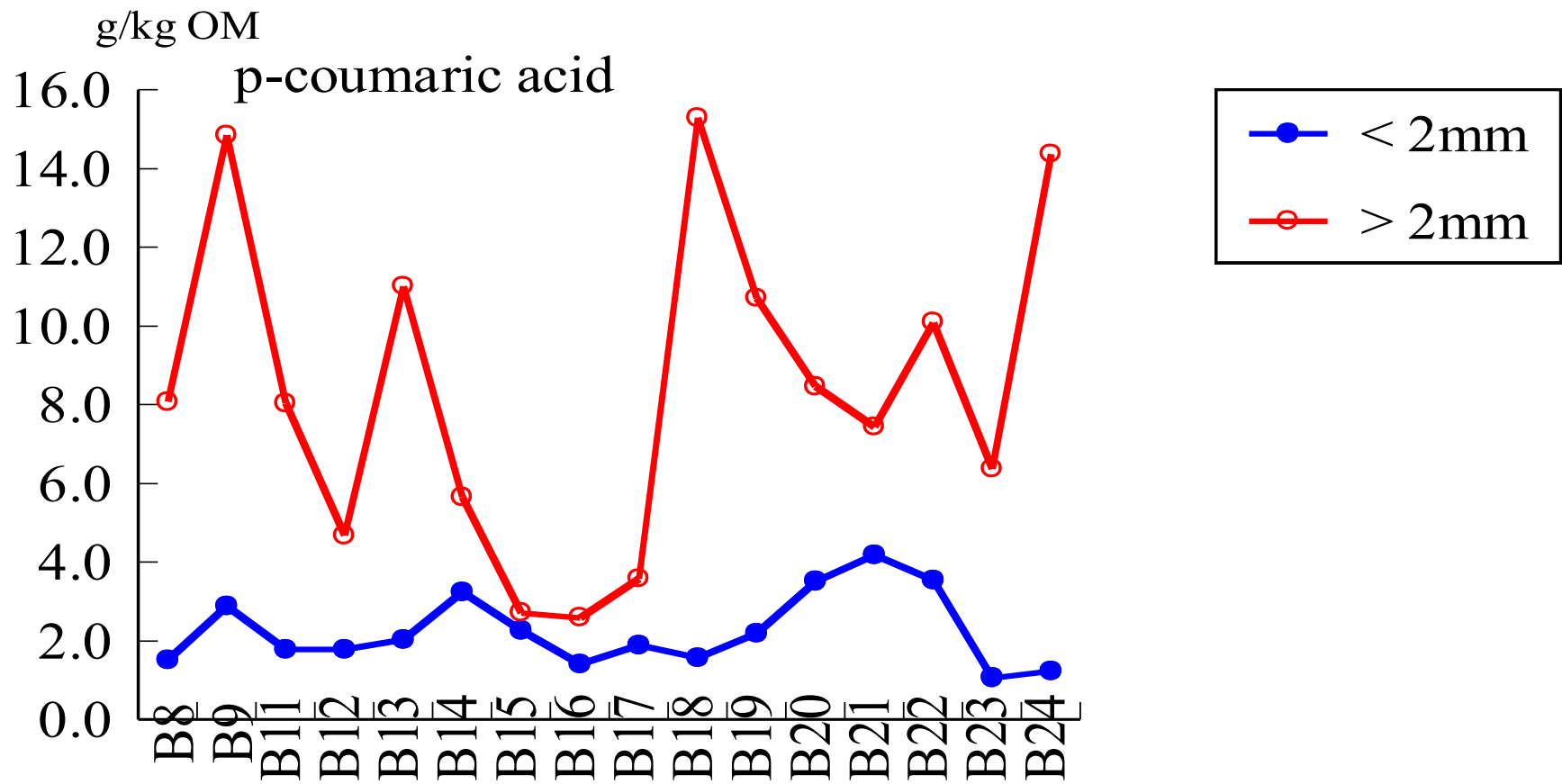
## 全フェノール酸



## 全脂肪酸







泥炭からの p-クマル酸の収量

# まとめ

- 十勝の大地には2万年にわたり人々の暮らしが刻まれている。
- 上川の丘陵地の景観は美しいが、そこでの農業は容易でない。泥流の傷跡も生々しい。
- 北海道の主要土壌は3大特殊土壌と呼ばれ、農業にはもともと適していなかった。
- 北海道の湿原は貴重な植生の宝庫であるが、その面積を減らしつつある。